

地域が主体のエネルギービジョンを

～エネルギーミックスの選択肢の原案について～

ジャーナリスト・環境カウンセラー

崎田裕子

○地域からエネルギーの未来を創る緊急シンポジウム○

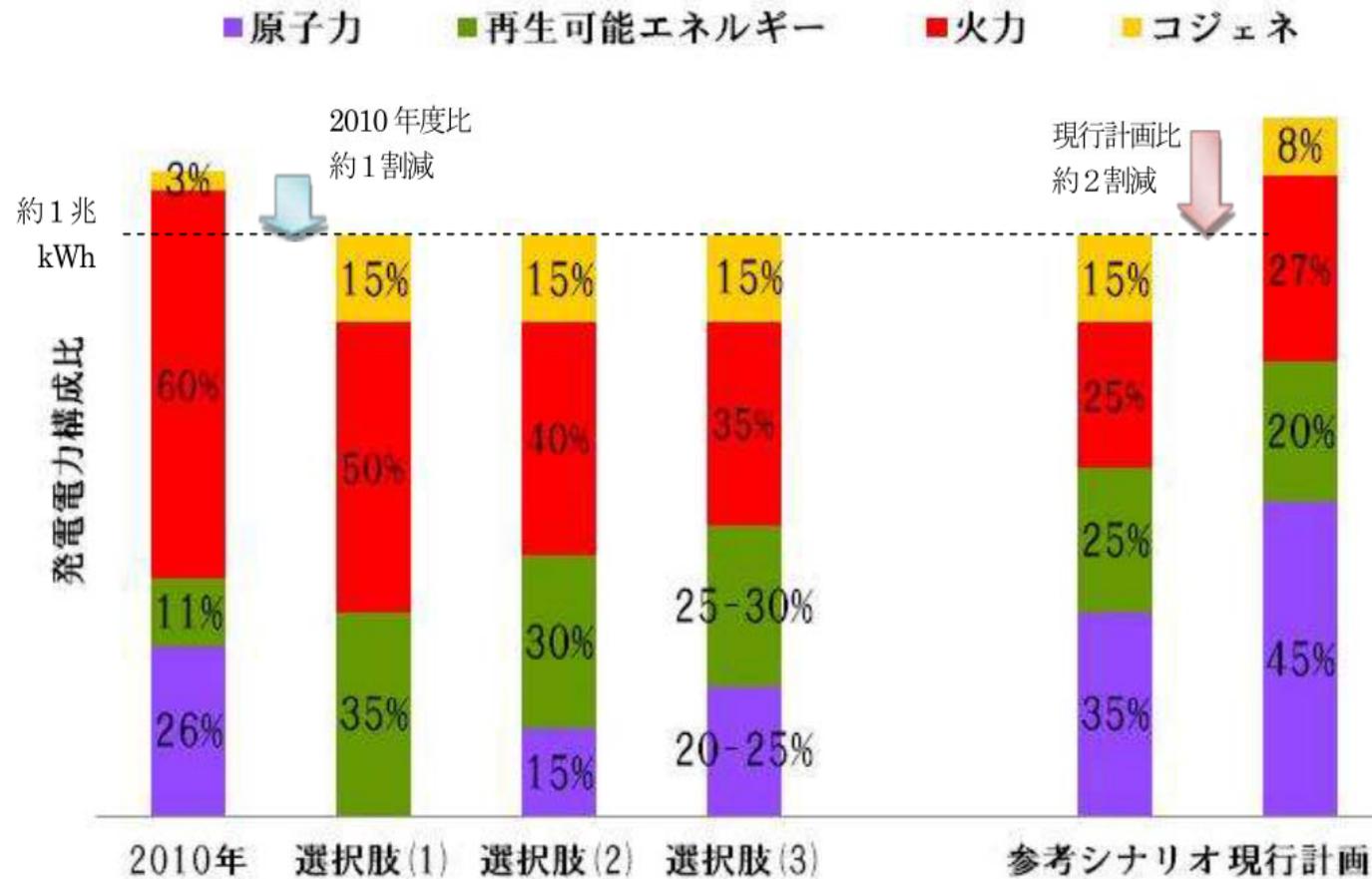
「自然エネルギーは地域のもの」

2012年6月6日

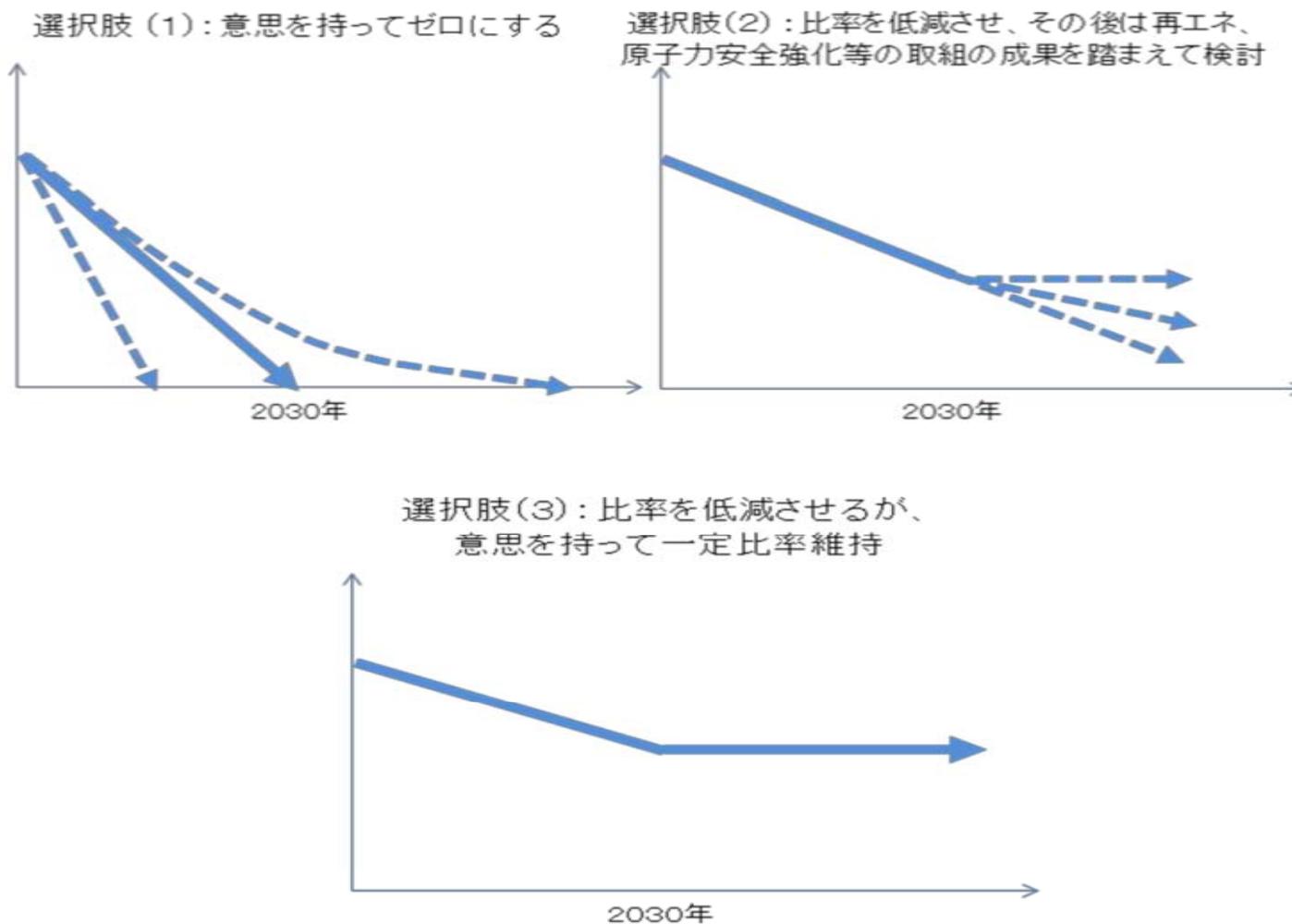
各選択肢における 2030年の電源構成イメージ表

	原子力発電	再生可能 エネルギー	火力 発電	コジェネ	省エネ (節電)	エネルギー起源 CO2 排出量 (電力起源 CO2 排出量) 【1990 年比】
選択肢(1)	0%	約 35%	約 50%	約 15%	【2010 年度比】 省エネ: ▲約2割 (節電: ▲約1割) →約1兆 kWh	▲16% (+5%)
選択肢(2)	約 15%	約 30%	約 40%	約 15%		▲20% (▲8%)
選択肢(3)	約 20%~ 約 25%	約 25%~ 約 30%	約 35%	約 15%		▲23% (▲15%)
参考 シナリオ	約 35%	約 25%	約 25%	約 15%		▲28% (▲33%)
現行 計画 (2010 年度 策定)	45%	20%	27%	8%	-	▲31% (▲27%)
2010 年度	26%	11%	60%	3%	-	+6% (+25%)

各選択肢における 2030年の電源構成イメージ図解



各選択肢における原子力発電比率に関する中長期イメージ



再生可能エネルギーの導入内訳 (2030年の総発電電力量に占める割合)の推計

	再生可能 エネルギー	風力	太陽光	地熱	水力	バイオマ ス・廃棄物
選択肢 (1)	35%	12%	6%	4%	11%	3%
選択肢 (2)	30%	7%	6%	3%	11%	3%
選択肢 (3)	30~25%	7~3%	6%	3%	11%	3%
参考シナリオ	25%	3%	6%	3%	11%	3%
現行計画	20%	2%	5%	1%	10%	3%
2010年度	11%	0.4%	0.3%	0.2%	8%	1%

火力発電の燃料構成

(総発電電力量に占める割合)の推計

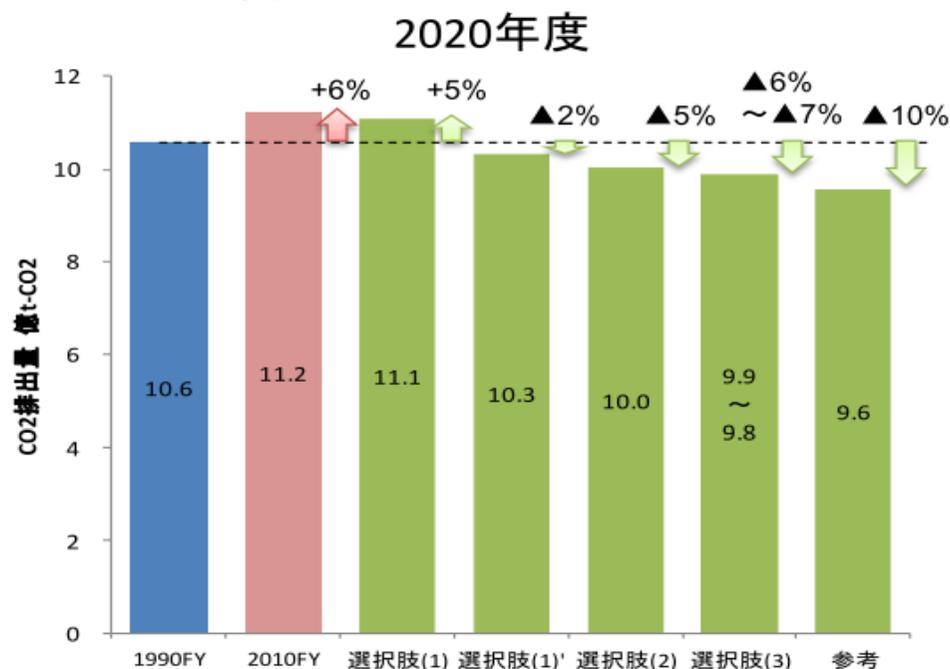
	火力	石炭 (コジェネ以外の 自家発)	LNG (コジェネ 以外の自家発)	石油 (コジェネ以外の 自家発)	コジェネ [天然ガスコジェネ]
選択肢 (1)	47%	24% (1%)	17% (1%)	6% (2%)	15% [12%]
選択肢 (2)	38%	23% (1%)	11% (1%)	4% (2%)	15% [12%]
選択肢 (3)	32%~33%	21% (1%)	8% (1%)	4% (2%)	15% [12%]
参考シナリオ	23%	16% (1%)	3% (1%)	4% (2%)	15% [12%]
現行計画	27%	11% (1%)	12% (1%)	4% (2%)	8% [4%]
2010年度	60%	24% (1%)	27% (1%)	9% (2%)	3% [2%]

(※) 表の数値は6月2日現在のもの。今後、数値の精査によって変わり得る。

(※) 火力発電の燃料構成における天然ガスの合計は、火力の欄のLNGのみならず、コジェネの増加分である天然ガスとの合計となる。

エネルギー起源CO₂排出量の試算結果

2020年度におけるエネルギー起源CO₂排出量は、1990年度比+5%~▲10%
(2010年度実績は1990年度比+6%)



2020年断面	選択肢(1)	選択肢(1)'	選択肢(2)	選択肢(3)	参考シナリオ
発電電力量	100%	100%	100%	100%	100%
原子力	0%	14%	21%	23%	31%
再生可能エネルギー	19%	19%	18%	18%	17%
火力	75%	61%	55%	53%	51%
石炭	27%	27%	26%	25%	24%
LNG	36%	27%	23%	21%	19%
石油	12%	7%	7%	7%	6%
コジェネ	6%	6%	6%	6%	6%

注: 試算結果は暫定値。四捨五入の関係で合計が一致しない場合もある。また、温室効果ガスは、エネルギー起源CO₂以外にも、非エネルギー起源CO₂、フロン、一酸化二窒素、メタン等が存在。したがって、本試算(エネルギー起源CO₂のみ)と、温室効果ガス全体とでは、排出量の増減の「%」は必ずしも一致しない。



地域エネルギーによる
日本再生を基盤に描く、
エネルギー将来ビジョン

「地域に根ざすエネルギー」とは

崎田裕子

■ 持続可能な社会をつくる元気ネット

1995年からごみ問題解決へパートナーシップ育み
2001年以降全国の協働の環境まちづくりを応援する
「市民がつくる環境のまち“元気大賞”」表彰実施



■ 地域の環境活動リーダーが参画する全国ネット

■ 応募約500団体ともゆるやかにネットワーク

■ eco japan cupと連携





環境まちづくり「入賞地」で学び合い 「全国サミット」&「エコツアー」を毎年開催

■ 2010年は生ごみ堆肥化などを活用した有機野菜で、
特産品づくりを進める埼玉県小川町「NPOつばさ游」で開催



元気大賞 受賞地域一覧

- 2001年 **NPO法人環境ネット21(群馬県伊勢崎市)**
「美しい地球をこどもたちに」生ごみの堆肥化・飼料化や環境につ
- 2002年 **伊万里はちがめプラン(佐賀県伊万里市)**
伊万里『環の里』計画～恵み豊かな伊万里を未来の子ども達へ手渡すために～
 [事業所・農業者・学校・行政そして一般家庭の連携による、食資源循環システム実現]
- 2003年 **岩手県葛巻町(岩手県葛巻町)**
天と地と人のめぐみを生かした日本一の新エネルギーの里づくり
 [風力・太陽光・間伐材・畜ふんなどを活用したエネルギー作りとエネルギー環境教育]
- 2004年 **NPO地域づくり工房(長野県大町)**
くるくるエコプロジェクト [農業用水路と水車のミニ水力発電で、仕事づくり・町おこし]
- 2005年 **市民・自転車フォーラム(愛知県名古屋市)**
そうだ！ 自転車で行こう！ [市民による自転車マップづくりで走りやすいまちづくり。]
- 2006年 **与論町地域女性団体連絡協議会(鹿児島県与論町)**
楽しみながらエコライフ [花とみどりできれいな島に。生活排水対策やごみ減量を実践]
- 2007年 **場所文化フォーラム(東京都／北海道十勝)**
場所文化レストラン「とかちの・・・」[地域と都市を食でつなぎ、文化交流を全国に]
- 2008年 **北海道中標津農業高等学校 農業クラブ(北海道)**
地域の輪(和)で創る 持続可能な「食と環境」推進プロジェクト
- 2009年 **NPO法人WE21ジャパン(神奈川県)**
循環型地域社会をつくるために 古着に新たな価値をつくる事業
- 2010年 **NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部(新潟県)**
地域と年を結ぶ 中ノ俣 棚田米 プロジェクト



活力ある環境まちづくり 7つの視点

「地域環境力」

■人間力 「参加と協働でパートナーシップの広がり」

- ①市民参加（市民が主体的に参加・参画している）
- ②連携・協働（住民・NPO・企業・学校・自治体）

■地域力 「共に課題を解決し、地域を活かす」

- ③地域性（地域課題解決し、地域資源活用）
- ④次世代（こども・若者交え 次世代につなぐ）
- ⑤継続・発展（3R・エネルギー・自然・食へ）
- ⑥まちづくり（まち興しへ 活動の環の広がり）
- ⑦経済性（コミュニティービジネスづくり）

- 多様な情報のつなぎ手人材・NPOの育成が鍵